

国際交流：2025年度学生の海外派遣成果の公表

(2026.5.1現在)

担当部署	プログラム名	参加者数 (2025年4月1日～2026年3月31日に開始した日本国籍者)	主な留学先	期間	教育研究活動内容	認定単位の方法	認定単位数(実績)
国際センター	協定校派遣留学	122名	アイルランド・イギリス フィンランド・スウェーデン ノルウェー・デンマーク ベルギー・オランダ チェコ・ポーランド ハンガリー・ブルガリア スロベニア・ドイツ フランス・スイス スペイン・イタリア アメリカ・カナダ タイ・マレーシア フィリピン・ブルネイ 中国・台湾・韓国 オーストラリア	4～10ヶ月	参加学生は、原則として留学先では本学での専攻分野の科目を履修する。本学で得た学びを基に留学先で専門分野を学ぶことで、その分野の知識を発展・飛躍させ研鑽を積む。参加学生は本学で学んだ知識を活かし、留学先でさらに高度な専門科目を履修することで専門性を高め、帰国後の研究や卒業論文において高いレベルの成果を生み出している。また派遣留学先が許可する範囲で、留学先でしか学べない知的好奇心を伸長させる科目を履修することも認めており、多様な知識を身に付けグローバルな視野を広げる。本学として学部生においては1学期で12単位相当、大学院生は9単位相当以上の単位を修得することを推奨しており、修得単位数としては学生はこの達成目標に向かって勉学に励むこととなる。また、帰国後には帰国レポートを提出することを義務付けており、同レポートは学内システム及び留学ガイドブックに掲載している。また、在学生を対象とした留学フェアや留学報告会において、留学体験を発表する機会を設けたり、学内システムで各種イベント情報の配信を行っている。	各学生の修得単位数、授業時間数、成績等を成績証明書に基づいて判断し、認定単位数を決定している。	半期留学者(4～5ヶ月)： 0～12単位  通年留学者(8～10ヶ月)： 2026年5月以降の帰国後認定予定  【24年度参考】 0～30単位

担当部署	プログラム名	参加者数 (2025年4月1日～2025年9月30日に開始した日本国籍者)	主な留学先	期間	教育研究活動内容	認定単位の方法	認定単位数(実績)
国際センター	夏期 海外語学・文化研修	104名	アメリカ カナダ イギリス マルタ フランス 韓国	2～4週間	能力に応じた語学プログラムで「話す、聞く、読む、書く」といった語学の技能を多面的に学ぶ。各研修では、課題作成、プレゼンテーション、試験などが課され、研修終了時に修了証が授与される。また文化研修として、人的交流や異文化理解のための研修を行っており、語学力の向上だけでなく、それぞれの国の文化や社会に対する国際的な視野を広げる。研修終了後にはアンケートを提出することを義務付けており、研修成果等の振り返りを行っている。	所定の条件(出席率、成績など)を満たすことにより、本学教養科目の「海外語学・文化研修」(2単位)において単位認定の対象となる。研修参加翌年度前期に本科目が自動的に履修登録され、学生が期日までに必要書類の提出を行うことで2単位の修得ができる。	2単位

担当部署	プログラム名	参加者数 (2025年10月1日～2026年3月31日に開始した日本国籍者)	主な留学先	期間	教育研究活動内容	認定単位の方法	認定単位数(実績)
国際センター	春期 海外語学・文化研修	114名	アメリカ カナダ アイルランド オーストラリア ニュージーランド フィリピン	3～5週間	能力に応じた語学プログラムで「話す、聞く、読む、書く」といった語学の技能を多面的に学ぶ。各研修では、課題作成、プレゼンテーション、試験などが課され、研修終了時に修了証が授与される。また文化研修として、人的交流や異文化理解のための研修を行っており、語学力の向上だけでなく、それぞれの国の文化や社会に対する国際的な視野を広げる。研修終了後にはアンケートを提出することを義務付けており、研修成果等の振り返りを行っている。	所定の条件(出席率、成績など)を満たすことにより、本学教養科目の「海外語学・文化研修」(2単位)において単位認定の対象となる。研修参加翌年度前期に本科目が自動的に履修登録され、学生が期日までに必要書類の提出を行うことで2単位の修得ができる。	2単位